

広報誌

すずちゃん 通信

No.19

Spring



発行日
2022(令和4)年
5月1日



「安全と安心、信頼の絆」

桜の花から新緑の季節にかけて、新陳代謝で新しい職員が入ってくる季節でもあります。

当院にも多くの職員が入職しており、慣れない職場で見るからに“ぎこちなさ”が見て取れており、「大丈夫!？」なんて思わず声を掛けたくなくなってしまいそうな場面も見受けられます。

ところで、病院を受診すると「お名前と生年月日を教えてください。」と、所々で言われます。更に診察室に入ってから同じことを言われると、「この先生は私のことを覚えてくれていないのかしら…」といった不信感を抱いたり、「何度同じことを言わすの?」とイライラしてしまった経験があるのではないのでしょうか。

手術患者取り違え事件などを発端に、医療安全が声高に叫ばれており、個人の注意力のみで医療事故を防ぐことには限界があると認識されています。他の業種で導入されている作業管理を医療現場にも導入しており、事故を未然に防ぐシステムの構築として、例えば外来の患者様は最初に名前と生年月日を伺い、入院患者様はリストバンドを付けるといった運用で患者確認がされています。医療の現場がいつも落ち着いている場面ばかりではありません。診察の途中に入院患者様の容態が変化した連絡があれば、思い違いをすることといった可能性があるかもしれません。同じような処置をする方が続けて発生する場合は、記憶に頼るのみならず、照合確認、複数の職員による確認の管理や患者様にお話ししていただく等の確認をすることが安全管理の基礎となります。更に医師が出した処置・指示・投薬等が患者様の状態と照合して適切か否か等を薬剤や看護師も再度確認が必要です。それに対して不安を感じた時には躊躇なく物事が言える職場の雰囲気づくりも大切な安全管理における基礎となります。そのためには医療チーム全体の知識の向上も不可欠となります。

安全な医療を提供する側にとって、事故や間違いが起きないようにとのことではありますが、チェックポイントが多すぎると煩わしさだけが目立ってしまい、「まだですか?」といった患者様の不満にも繋がりがかねません。医療現場は診察する場所や場面が変わるたびに担当の職員が変わったり、様々な職員が患者様と接しています。この流れについては、全てを機械化することができない、人と人が作り出す空間といえます。患者様側に立つと鬱陶しく思えることも、「確認させていただきました。今日の診察・処置よろしくお願ひ致します。」といった職員からの一言が安心に繋がるものであると思っております。

話は変わりますが、『インフォームドコンセント』・『説明と同意』といった言葉をご存じでしょうか。主治医が病状について話しをする中で、患者様によって選択された治療が行われた際のリスクや利益について十分な情報の開示（一般的な成績と共に病院の治療成績等を含め）を受け、一緒に吟味した後、患者様の気持ちと志向に合わせた治療を組み立てていきます。自分の意向を理解した主治医と共に考えた診療行為について、権限移譲（許可を与える）決断をすることは、単純に同意をもらうことが目的ではなく、共有して熟考する中で作り出される『信頼関係』が大切だと考えます。

安全・安心には手間や時間が掛かります。薬の話や病状を聞くことによって、自分も治療に参加していると感じていただき、どうか『安心』の一步にして下さい。

安全を確保するために我々職員がすべきことを行い、これを安心へと昇華させていき、更に患者様との信頼関係を創り出す。これに必要な労力を天竜すずかけ病院は惜しみません。目標は「そんなことは天竜すずかけ病院では普通のことだよ」と胸を張らなくても言えることを増やすことです。その先の皆さんの笑顔が私たち最大の誇りなのであります。



天竜すずかけ病院
病院長

鈴鹿 知直

当院の感染対策について



第6波以降、再び面会禁止にさせていただきます(3月末時点)



職員は手指消毒アルコールをポシェットで携帯しています

玄関・通用口に手指消毒アルコールを適切に配置しています



職員は通用口で検温してから就業しています

来院者は検温モニターで体温チェックをお願いしています



受付をはじめ対面する場所にはパーテーションを設置しています

受付ホールにて洗濯物・物品の受け渡しを実施し、近況も同時にお伝えしています



各面談室テーブルにパーテーションを設置しています
面談後にリモート面会も行っています



受付ホールをパーテーションで区切って面談コーナーを設置しています

来院者には問診チェックをお願いしています
過去2週間の発熱状況についてもお聞きしています



リモート面会専用コーナーです
病室の患者様とモニター越しで面会していただいています



新型コロナウイルスワクチンの予防接種について



- 当院に入院・入所中の患者様については随時接種を行っています。
- 未接種の患者様は接種券付予診票が届きましたら受付へご提出ください。



- 外来では**当院かかりつけの患者様のみ**接種を行っています。
- 未接種のかかりつけ患者様は接種券付予診票が届きましたら受付へご提出ください。
- 誠に申し訳ありませんが、一般の方は各市町村の接種医療機関又は集団接種会場にお問い合わせください。

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣 2396-56
電話：053 (925) 8111 (代)
FAX：053 (925) 8112
電子メール
tenryu@suzukake.or.jp
ホームページ
http://suzukake.or.jp/tenryu/



あなたの笑顔が
わたしたちの喜び

外来診療医 担当表

内科・リハビリテーション科・脳神経内科

	月	火	水	木	金
医師名	竹村 兼成	竹下 力	鈴鹿 知直	田中 弦	大橋 亮洋
午前 診療時間	9:00 }	9:00 }	9:00 }	9:00 }	9:00 }
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
コメント	内科全般	漢方の相談	脳神経内科 認知症	内科全般	リハビリ
午後 医師名			大井 政芳		
午後 診療時間			14:00 }		
			16:00		
コメント			第2:脊 椎 第4:脊 椎		
備考	【休診日】 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)				

新型コロナウイルス(オミクロン株)から自分の身を守る為には、 従来の感染予防対策を続けることです!



マスクの着用は必須です

飛沫感染が主な感染経路ですので、
マスクを外した会話はNGです



手洗い・手指消毒の習慣を継続しましょう

コロナウイルスは、プラスチックに72時間・
ステンレスでは48時間段ボールには24時間・
銅は4時間、それぞれの表面に生存しています



換気・人と人の距離を開けましょう

コロナウイルスがエアロゾルになった時、
3時間生存しますので、私達の傍で停滞
しないように換気をします



大勢の人との会食は避けましょう

無症状の人からの感染はわかりません。
食事の時マスクを外す為、感染リスクが高くなります

季節の俳句 (通所リハビリ利用者様より)

しゅんらい やねう おめ お
春雷や 屋根打つ雨に 起こさるる

しゃそう はな め
車窓より 花を賞でつつ デイクアヘ

へいぼん うつく
たんぽぽや 平凡という 美しさ

びせい お うめいちりん
うぐいすの 美声に起こされ 梅一輪

編集長の ひ・と・り・ご・と

2022年度がスタートしました。今年度は21人の新
入職員を迎えることができました。少子高齢化が進む
中で医療介護現場にこれだけの人材が集まってくれた
ことに感謝しています。60歳を超えた立場からは若
者に対して“若くていいな!”と心の中でつぶやいて
しまいますが、少子高齢社会での若者たちへの負担を
考えるとちょっと複雑な心境になってしまいます。次
号ではこの若者たちを紹介する企画を検討しています
のでよろしくお祈りします。

【写真】 松下 大介 【文責】 高柳 卓司

※当広報誌は本用途以外の転用を固くお断りしております。